

2015年12月11日

各位

ふくしま復興共同センター
福島県商工団体連合会
福島県農民運動連合会

連絡先：福島県農民連 Tel024-546-7229
E-mail：kenren@f-nou.com

福島切り捨てを許さないー政府・東電交渉へのご協力をお願い

原発事故から、4年9か月。県外避難者43,776人。(2015年11月12日調べ) 県内避難者57,745人。震災直接死1,604人。震災関連死1,992人(2015年12月4日 福島県災害対策本部発表)。被害は、深刻化し広がり続けています。

福島第一原発は、いまだに収束の見通しさえもたっていません。原子炉に人間は近づくこともできません。溶け落ちた燃料の回収方法は、全く見通しがたちません。福島県民はこれから何十年もこの危険な壊れた原発と共存を強いられるのです。

一方国・東電は、①「居住制限区域」「避難指示解除準備区域」の避難指示を2017年3月までに解除。②上記2区域の住民への精神的賠償を2018年3月で廃止。③避難区域以外からの避難者について、福島県は避難先の住宅無償提供を2017年3月で廃止。④避難区域の商工業者への営業賠償や避難区域外の商工業者の風評被害賠償については従来支払1年分の2倍相当を一括払いなど次々と福島切り捨てを打ち出しています。さらに原発再稼働をどんどん進めようとしています。これは、福島を蔑ろにするものです。

現在行われている営業損害打ち切り、強制帰還の酷さの実態を告発し、その打開を勝ち取るために下記により政府・東電への抗議・要求行動を行います。多くの皆様のご参加・ご協力をお願いいたします。

記

とき：2016年1月15日(金)

■官邸前抗議行動

11:30~12:00

■政府・東電交渉

13:00~15:30

衆議院第一議員会館 大会議室

交渉内容

1. 現在進んでいる営業損害打ち切り、農業「風評」被害の見直し減額切り捨て、避難解除の惨さの実態告発とその打開策の交渉
2. 国民的合意がまったく得られていない「20ミリシーベルト以下の被ばくはなんらの権利侵害に当たらない」を根拠とするあらゆる施策の撤回、見直し。
3. その他

以上